

学校・幼稚園の 津波対応マニュアル

(暫定版) Ver.1

浜松市教育委員会

平成23年6月

1. 想定条件

東海地震あるいは、三連動地震（東海・東南海・南海地震）が発生し、大津波の到達が予想される場合、あるいは、津波警報が発令された場合を想定

- 津波の到達時間は、地震発生後、遠州灘海岸まで約10分を前提とする
- 津波の高さについては、先入観を植え付けないため、具体的には示さない。

※【参考】津波の到達予想時間

（東海地震第3次被害想定：平成13年静岡県策定）

| | 第1波 | 50cm上昇 |
|-------------------|------------------|--------|
| 天竜川河口～馬込川河口 付近 | 波源域とされ 地震発生直後 | 10分 |
| 新居海岸 | 9分 | 16分 |
| 舞阪漁港 | 14分 | 19分 |
| 宇布見 | 25分 | 64分 |
| 気賀 | 49分 | 93分 |

上記の想定はあくまで参考であり、できるだけ迅速な避難を心掛けることは言うまでもない。

また現在、国・県ともに新しい被害想定について策定中であるので、津波に関する情報が入り次第、順次具体的な時間に改めていく予定である。

※【参考】津波の速さ・海岸部で、時速36km（秒速10m） 人の移動スピード

| | | |
|------------------------------|------|------------|
| ・老人単独歩行（自由歩行速度） | | : 1. 1m/秒 |
| ・ベビーカーを押している人 | | : 0. 9m/秒 |
| ・群集歩行 | | : 1. 2m/秒 |
| ・自力のみで行動できにくい人 （重病人、身障者等） | （水平） | : 0. 8m/秒 |
| | （階段） | : 0. 4m/秒 |
| （位置、経路等に慣れていない人） | （水平） | : 1. 0m/秒 |
| | （階段） | : 0. 5m/秒 |
| ・身障者等の歩行速度（急いで） | C 1 | : 1. 2m/秒 |
| | C 2 | : 0. 44m/秒 |

出典「津波対策推進マニュアル検討報告書」（平成14年3月岩手県）

2. 津波に対する避難行動

地震発生

強い地震（震度4以上）を感じた場合、または、弱い地震であっても長い時間ゆっくりと揺れを感じたときは、津波が発生する恐れがある。



| | |
|-------------|---|
| 登 校 時 | <p>職員の動き</p> <ul style="list-style-type: none">・揺れがおさまったら、すぐに登校済みの児童生徒の安全確保を図るとともに校舎の安全を確認する。・地震の規模や、津波に関する情報の入手（テレビ・ラジオ・戸別受信機・同報無線等）・放送機器等を用い、学校付近の登校中の児童生徒に校舎上階への避難を呼びかける・事前の役割分担により、先導役・検索役を中心に児童生徒を校舎上階へ避難誘導する。 （予め、児童生徒が校舎のどの教室へ駆け上がるか、その際どの階段を利用するか、どこに情報を集約するか等を決めておく。）・「防災グッズ」(P6参照)や無線等の校舎上階への運び出しをする。・上階への避難が一段落したら、可能な限り登校していない児童生徒の保護者との連絡を取り、児童生徒の安否を確認する。・周辺住民が学校に避難してきた場合、整理にあたる。 （予め、児童生徒の避難場所と、住民の避難場所の区分けをしておく。防災教育連絡会議等で、周知しておく必要有り。） <p>児童・生徒の動き</p> <ul style="list-style-type: none">・まず、周囲の安全を見極める。 （電柱・ブロック塀の倒壊、崖崩れ など）・予め決めておいた避難場所（3階以上または、それに相当する高地）のうち、最短距離にある場所へ急いで駆け上がる。・避難地に到着したら、周囲の大人に保護者または学校への連絡をお願いします。 |
|-------------|---|

| | |
|-------------|--|
| 在 校 時 | <p>職員および児童生徒の動き《初動対応》</p> <ul style="list-style-type: none">・震災に対する一次避難（机の下にもぐる）・揺れがおさまったら、児童生徒の安全確保を図るとともに校舎の安全を確認する。・地震の規模や、津波に関する情報の入手（テレビ・ラジオ・戸別受信機・同報無線等） <hr/> |
|-------------|--|

【校舎の上階を避難所と考える場合】

在
校
時

職員の動き

- ・事前の役割分担により、先導役・**検索役※注1**を中心に児童生徒を校舎上階へ避難誘導する。
- ・「**防災グッズ**」や無線等の校舎上階への運び出しをする。
- ・上階への避難後ただちに点呼を取り、児童生徒の安否を確認する。
- ・周辺住民が学校に避難してきた場合、整理にあたる。

児童生徒の動き

- ・予め決められた避難経路を通り、指定された教室等に駆け上がる。
(階段では、児童生徒が集中して避難行動に支障がでることが予想される。様々な場面を想定した訓練ののち検証を繰り返し、教師の誘導や児童生徒の通行方法を効率よいものに絶えず改善していくこと。)
- ・教員がいない場合（休み時間等）は、自分の判断で迅速に行動する。

【学校以外の高台等の避難地を想定する場合】

職員の動き

- ・**事前の役割分担※注2**により、先導役は避難経路の安全を確認する。
(土砂崩れや建物の倒壊等のおそれはないか等)
- ・検索役は、避難する児童生徒の最後尾をつとめ、落伍者が出ないように注意する。
- ・事前の役割分担により、「**防災グッズ**」や無線等の避難所への運び出しをする。
- ・避難が一段落したら、点呼を取り、児童生徒の安否を確認する。

児童生徒の動き

- ・予め決められた避難経路を通過して、指定された避難所まで走る。
- ・小学校高学年以上は、園児や低学年の児童に落伍者がないように気を配る。
- ・中学生は、避難経路の途上において、お年寄りなどの災害弱者の支援にあたる。(ただし、自分の身の安全を最優先にする。)
- ・付近に教員がいない場合（休み時間等）は、自分の判断で迅速に行動する。

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">下 校 時</p> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">職員の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送機器等を用い、学校内や校庭付近の児童生徒に校舎上階への避難を呼びかける ・事前の役割分担により、先導役・検索役を中心に児童生徒を校舎上階へ避難誘導する。 ・「防災グッズ」や無線等の校舎上階への運び出しをする。 ・上階への避難が一段落したら、可能な限り下校済みの児童生徒の保護者との連絡を取り、児童生徒の安否を確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">児童・生徒の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、周囲の安全を見極める。 (電柱・ブロック塀の倒壊、崖崩れ など) ・予め決めておいた避難場所（3階以上または、それに相当する高地）のうち、最短距離にある場所へ全速で駆け上がる。 ・避難地に到着したら、周囲の大人に保護者または学校への連絡をお願いします。 </div> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">放 課 後 の 残 留 や 部 活 動 中</p> | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">職員の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送機器等を用い、学校内や校庭付近の児童生徒に校舎上階への避難を呼びかける（以下下校時と同じ） </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">児童・生徒の動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予め決められた避難経路を通過して、指定された教室等に駆け上がる。 ・教師の付き添いがない場合も考えられるので、グラウンドや体育館から校舎や高台などへの避難を躊躇無く行えるよう、日頃から指導しておく。 </div> |
|--|--|

| | |
|---------------|--|
| 校外活動時 (海岸) | <div data-bbox="327 174 544 235" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 職員の動き </div> <ul style="list-style-type: none"> ・直ちに活動を中止し、できるだけ高いところに避難させる。 (予め、津波に対する避難場所を確認しておく。) (海岸にあっては、「津波注意報」の発令でも同様とする。また、 情報を入手する機器等を携行しておく) <div data-bbox="327 495 641 555" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 児童・生徒の動き </div> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の指示に従い、迅速に行動する。 |
|---------------|--|

| | |
|----|--|
| 休日 | <div data-bbox="327 779 544 840" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> 職員の動き </div> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動等で登校している児童生徒を掌握し、校舎最上階や高台に集める。 (以後は在校時と同様) <div data-bbox="327 1061 641 1122" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-top: 10px;"> 児童・生徒の動き </div> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が収まったら、すぐにテレビやラジオ等により津波の情報を確認する。 ・情報がない場合、あるいは緊急に避難を要するとの情報があった場合は、近くの高台やビル等のできるだけ高いところに急いで避難する。 |
|----|--|

3. 平常時から対策を講じておく必要があること

- ① 平常時から、教職員及び児童生徒に対して、津波に関する情報の種類とサイレン等の覚知について指導をしておく必要がある。

| 種別 | | サイレン信号 |
|-----|-------------------------|---------------------|
| 注意報 | 津波注意報…0.5m程度の津波 | 10秒吹鳴 → 2秒休止 9回繰り返し |
| | 津波注意報及び津波警報解除 | 10秒吹鳴 → 3秒休止 9回繰り返し |
| 警報 | 津波警報 … <u>2m程度</u> の津波 | 5秒吹鳴 → 6秒休止 9回繰り返し |
| | 大津波警報 … <u>3m以上</u> の津波 | 3秒吹鳴 → 2秒休止 9回繰り返し |

- ② 津波に対する避難場所としてふさわしいのは、各学校（園）なのか、それ以外の高台や建物なのかを吟味し、設定しておく。
- ③ 校舎の中での避難場所の割り振りを決定し、教職員や児童生徒はもちろん、近隣の住民にも示しておく。
(そのためには、3・4階や屋上の収容力を確認しておく必要がある。)
- ④ 上階への階段の割り振りをし、周知しておく。
(パニック状態に陥ることによる将棋倒しを防ぐため)
また、地震によって防火扉が閉まってしまうこともあるため、職員・児童生徒に周知しておく。
- ⑤ 教職員の役割分担を明確にしておく。
- 先導役 …避難経路や避難場所の安全を確認しつつ、児童生徒を導く
 - 検索役※注1…児童生徒の最後尾をつとめ、落伍者がいないかどうか大声を発しつつ各階を最終的に確認してから上階に避難する。
 - 備品担当…「防災グッズ」や防災無線を責任持って上階に運ぶ。

☆防災グッズとして考えられるもの

学級名簿・町別名簿・拡声器・ラジオ・照明器具・救急用品・笛
防災カード

- 鍵担当 …上階の空き教室など、鍵がかかっている場合も多いので、鍵の責任者を決めておく。※注3
- 住民担当 …学校に避難してきた地域住民の避難誘導

※注2事前の役割分担について

実際の被災状況によっては、事前の分担が機能しないことも充分考えらる。その場に居合わせた教員が、臨機応変に役割を果たすことが求められるので、そのことを職員全体に周知しておく必要がある。

防災カードの例 浜松市立〇〇小・中学校

| | | | | | |
|----------------------------|---|--------------|--------------|--------------|----------|
| 児童生徒名 | | 性別 | 男 女 | 学年・学級 |)年)組)番 |
| 住 所 | 電話() - | | | | |
| 指定避難所 | 家族の集合場所※1 | | | | |
| 指定避難所に代わる避難所※2 | ※1は、家族に電話・メール等の連絡がつかない場合の避難場所を、 ※2は、地域の実情に応じた津波避難場所などを記入する | | | | |
| 保護者氏名 | 児童生徒との関係 | | | | |
| 本校に在籍する兄弟姉妹 | 無・有 | ()年()組()番 | ()年()組()番 | ()年()組()番 | |
| | | 氏名 | 氏名 | 氏名 | |
| 緊急時の連絡先(優先順に) | ① 氏名 | 続柄 | 電話() - | | |
| | | 携帯() | メールアドレス | | |
| | 通常(児童生徒在校時)の所在 自宅・自宅以外 () | | | | |
| | ② 氏名 | 続柄 | 電話() - | | |
| | | 携帯() | メールアドレス | | |
| | 通常(児童生徒在校時)の所在 自宅・自宅以外 () | | | | |
| | ③ 氏名 | 続柄 | 電話() - | | |
| | | 携帯() | メールアドレス | | |
| 通常(児童生徒在校時)の所在 自宅・自宅以外 () | | | | | |

※これは、一例なので、各学校の実態に応じて適宜アレンジしてください。

※以下は、災害時の引き渡しで使用

| | | | | |
|--------|---|---|-------|----------|
| 引渡し日時 | 月 | 日 | 時 | 分 |
| 引き渡し職員 | | → | 引取り者名 | 児童生徒との関係 |
| 避難場所 | | | | |
| 今後の連絡先 | | | | |

★以下に、「通学路」を添付し、想定される危険箇所(ブロック塀や崩落危険箇所)や避難場所を記入する